

城東区を知る

— アイラブ城北川プロジェクト —



城北川

城東区は、大阪市の中でも、特に川が多い区です。昔は寝屋川を主軸とする八つの河川が縦横に流れていました。埋め立てがあつて姿を消した川もあれば、城北川のように、元々運河として作られた川もあります。現在は5つの川が流れています。ここでは、工業排水や家庭排水により水質が悪化したけれども、水質浄化に取り組み、魚が戻ってきた城北川について調べられる資料をあげています。

『城北川区民意識アンケート調査』事業報告書』大阪市城東区役所 2007 *ID 0011420316

『大阪の川』大阪市建設局 2004 ID 0010890787

『大阪人 1991年4月』大阪市都市工学情報センター 1991 ID 5111536832

『城北川検定30』[大阪市立関目東小学校] [2008]
*ID 0012100439

WEB 大阪市立図書館 HP→城東図書館→城東区を知る→郷土史よくある質問→城東区を流れている城北川について知りたい

城東区 HP→みんなでまちづくり→アイラブ城北川プロジェクト

城東区 HP→城東区のご案内→区のプロフィール→城東区を流れる川→城北川

この調べかたガイドでは、城東区をテーマに4つのトピックを選び出し、それについて調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

ID 大阪市立図書館の「書誌 ID」(お問い合わせの際にお伝えください)

城東図書館に所蔵しているものは、IDの前に*をつけて表示しています。(* の無いものも所蔵館から取り寄せできます。)

小学生から読めるものは ID 番号の後に オムリンマークをつけています。

WEB 大阪市立図書館のホームページ

紹介した資料やホームページなどはほんの一例です。図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

調べかたガイド: 各区版

城東区の調べかた

城東区の史跡・名勝・建築

— しのぎの 鴨野・今福古戦場 —

城東区の人物・伝説

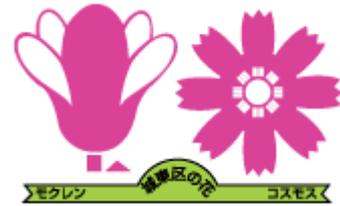
— じゅうよんだいあさひ やましろ う えもん 十四代朝日山四郎右衛門 —

城東区の民俗・文化

— 相撲 —

城東区を知る

— アイラブ城北川プロジェクト —



城東区の花 “モクレン” “コスモス”

大阪市立城東図書館

〒536-0005 大阪市城東区中央3-5-45

TEL 06-6933-0350

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>

開館時間 火～金曜日(第3木曜日は休館)
10:00～19:00

土・日曜日、祝・休日、7/21～8/31の月曜日
10:00～17:00

休館日 ●月曜日、第3木曜日(祝・休日は開館)
7/21～8/31の月曜日は開館

●年末年始
●蔵書点検期間

城東区の調べかた

Ver.2.2 2019.02改訂

城東区の史跡・名勝・建築

—^{しぎの}鳴野・今福古戦場—

ろう城戦が主たる戦いである大阪冬の陣の中で、豊臣軍・徳川軍の直接対決となった最大の戦い“鳴野・今福の戦い”。大和川(現在の寝屋川。1704年に大和川の付替えが行われ、この部分は寝屋川となりました)を挟み、南(左岸)に鳴野村、北(右岸)に今福村がありました。1614(慶長19)年11月26日早朝、上杉景勝(徳川軍)が鳴野の柵を、佐竹義宣(徳川軍)が今福の柵を攻撃。大阪城から戦いの様子を見ていた豊臣秀頼が、後藤基次に、今福へ救援に行くよう命じたとあるように、このころは大阪城から城東区の様子はよく見えていたようです。

『戦況図録大坂の陣』 新人物往来社 2003

*ID 0010580180

『図説 大坂の陣』岡本良一著 創元社 1978

ID 0070038984

『大坂の陣』 旺文社 1984 ID 0000330815

WEB 大阪市立図書館 HP→城東図書館→城東区を知る→大阪あそ歩 城東区関連マップ・リンク集→鳴野・放出「消えた河内湖を追え!」

『城東：80周年記念誌』大阪市立城東小学校 1973

ID 0080191343

城東小学校にある
「鳴野古戦場碑」



城東区HP→城東区のご案内→区のプロフィール→名所・旧跡→鳴野古戦場碑

また、鯉江川は以前は古川と呼ばれていましたが、この時の戦死者の血で赤く染まり、生血(なまぢ)川と呼ぶようになり、のちに近江(滋賀県)の鯉江の名を取って、鯉江川と呼ぶようになったとも言われています。

『蒲生古事記』岡島修二[編] 大阪市立蒲生中学校

1977 *ID 0010760409

*鯉が多く取れたので鯉江川と称されたとも言われています。

『ふるさと城東』大阪市城東区役所区民室広聴広報係

1995 *ID 0000465964

城東区HP→城東区のご案内→区のプロフィール→城東区を流れる川→鯉江川

城東区の人物・伝説

—^{じゅうよんだいあさひやまし ろうえもん}十四代朝日山四郎右衛門—

大正時代、朝日山四郎右衛門の名を襲名して活躍したこの関取は、鳴野の米屋の息子でした。入門時の四股名は鳴野森。大関まで出世しました。地元の人や郷土を愛し、地元の人からもとても愛されていました。現在でも八劔(やつるぎ)神社に「奉納十四代朝日山四郎右衛門、大正九年四月」と書かれた石柱と、朝日山の化粧まわしをつけた額が奉納されています。

『城東見聞録』 大阪市城東区役所区民企画室 2005

*ID 0011046720

『鳴野の里』 志宜野今昔会 1984 *ID 0000380698

『桂馬のふんどし：小説朝日山四郎右衛門』 講談社

1976 *ID 0080034008

城東区の民俗・文化 —相撲—

国技館といえば東京の両国が思い浮かびますが、かつて、大阪市城東区古市にも国技館がありました。昭和12年竣工。こけら落としの大阪準本場所は満員御礼で、梅田駅と難波駅から臨時バスが出ました。太平洋戦争のぼつ発までの4年間7回の準本場所を開催し、昭和15年より軍需工場となり、国技館の役割は終わりました。残っていた相撲茶屋跡の家並みも、なくなっていました。

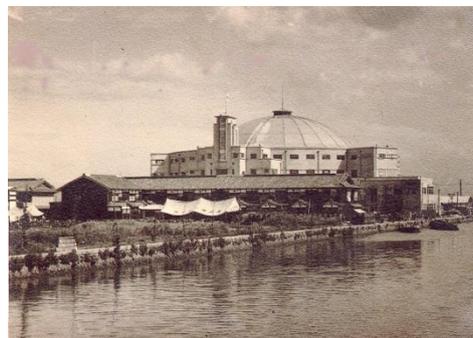
『城東区制50周年わがまち城東区』 城東区制50周年記念事業実行委員会 1994 *ID 0000406141

『相撲大事典』 日本相撲協会 現代書館 2011

*ID 0012219200

『大阪大国技館と大相撲』 大阪市城東区役所 2015

*ID 0013447819



当時の大阪国技館

城東区HP→城東区のご案内→区のプロフィール→名所・旧跡→大阪大国技館跡

また、八劔神社境内に、昭和36年に建てられた「郷土宮相撲米川部屋頭取碑」があります。

『大阪人 2007年4月』大阪市都市工学情報センター

2007 *ID 5111376606